

交通安全情報

鹿児島県警察本部 高齢者交通安全支援室
電話 099-206-0110

令和8年
2号

県内の交通事故 令和8年1月末現在(概数)

	発生件数	死者数	負傷者数
発生状況	233	0	268
高齢者事故	111	0	48
前年同期比	+ 5	- 3	- 3



ルールを守って交通事故防止

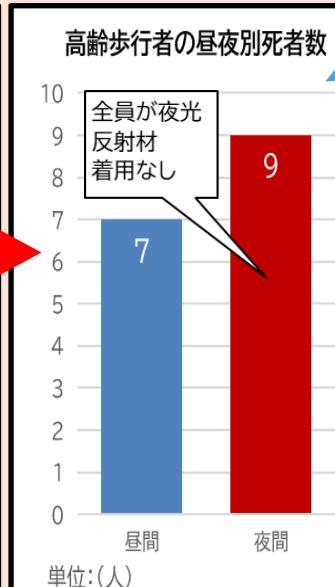
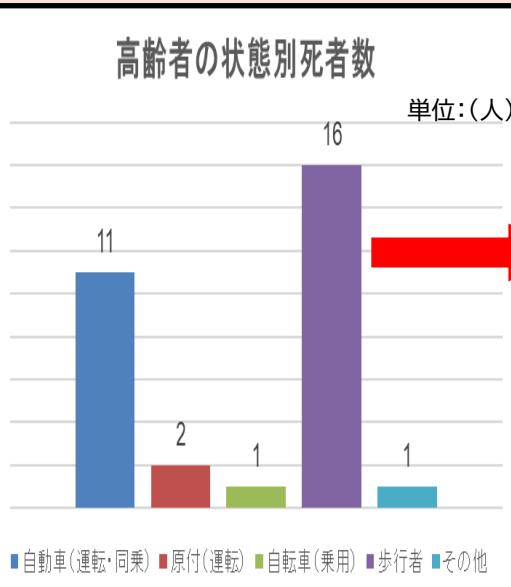
※高齢者事故発生件数は、高齢者が関連する全事故件数で、高齢者事故死者数と負傷者数は、高齢者の死者数及び負傷者数

上記表のとおり、本年1月末現在、交通事故により、お亡くなりになられた方は、いませんでした。

運転する際は、危険を予測し、安全確認をしっかりすることで、交通事故防止に努めま

しま。また、体調が悪いときや天気が悪いときは、運転を控えるなどの補償運転を実践して交通事故を防止しましょう。

夜間外出時、必ず付けよう、夜光反射材



左の2種類のグラフは、
令和7年中の高齢者の数値
を表しています。



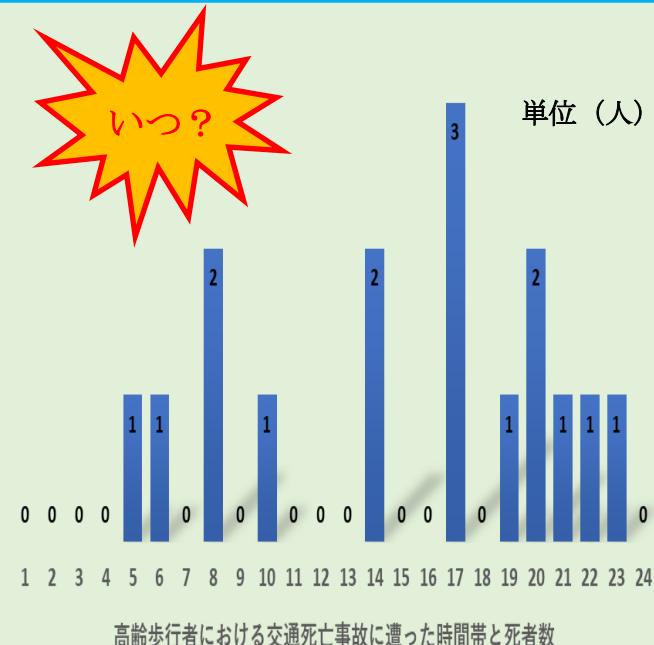
上記グラフのとおり、令和7年中の高齢者死者数で最も多のが、歩行者(16人)の交通死亡事故であり、次に自動車の運転、同乗(11人)の順となります。

また、高齢歩行者の昼夜別の死者数では、昼間での死者数が7人で、夜間で死者数が9人と夜間での死者数の方が多く、夜間に亡くなられた方は、全員が夜光反射材を着用していない状況でした。

夜間は、夜光反射材を着用することで、自分の存在を車の運転者に気付いてもらうようにしましょう。

高齢歩行者は、いつ・どこで事故に遭っているか？

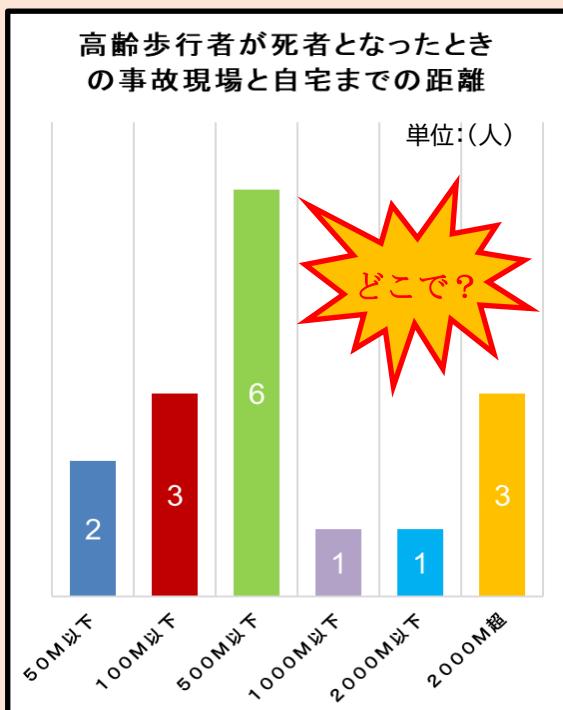
死亡事故の被害に遭った時間帯



高齢歩行者が交通死亡事故の被害に遭う時間帯を分析した結果、17時（午後5時）が3件と一番多く、次に8時（午前8時）、14時（午後2時）、20時（午後8時）がそれぞれ2件という結果でした。

朝方の早い時間帯や夜間などの、比較的、暗い時間に事故は起きているため、外出時は、明るい服装に心掛けましょう！

事故現場と自宅までの距離



高齢歩行者が、交通死亡事故の被害に遭われた場所を分析した結果、自宅から500メートル以内で11人の方が亡くなっており、高齢者の歩行中死者の約7割という結果でした。

高齢歩行者が交通死亡事故の被害に遭う場所は、比較的、自宅から近い場所であることが分かります。

自宅付近だからと油断せずに、交通事故防止に努め、夜間は、夜光反射材を積極的に活用しましょう！



夜間は目立ってなんぼ！キラキラ存在感のある服装で事故防止！